

平澤貞通 （絵巻） 畫家、死刑囚。明治二十五年二月十八日東京生れ、
 昭和六十一年五月十日歿（六九—一九七）。號光彩、大帝、大障。日本
 水彩畫會研究所の學ぶ。テンペラ畫で、科展、帝展等に入選。うち文
 展・帝展無鑑査。昭和二十二年帝銀事件の逮捕、起訴後一貫して犯行
 否認と二十二年死刑確定。獄中病死。

著書『帝銀死刑囚―老こんペラ畫家の獄中記』（繩野純二編、昭和二十
 四年五月）二十五日現代社）、『痛恨の画布―平沢貞通・獄中画と書
 簡集』（昭和二十七年旭川・平沢貞通画集刊行会編刊、札幌・みやま
 書房発売）等。

文獻、林京編『容疑者平澤貞通の自
 白は覆さるゝ』（昭和二十二年十一
 月十八日創人社）、瀬戸口寅雄著
 『有罪か無罪か―帝銀事件自白後の
 真相』（内題「有罪か無罪か帝銀事件自白
 後の真相」昭和二十二年十一月二十
 五日斐文社）、松木清張著『小説帝
 銀事件』（昭和二十四年十一月十日

文藝春秋新社）、森川哲郎著『獄中二十一年―「死刑囚」平沢貞通と
 其の生き生き』（昭和五十五年九月二十日現代史出版会）、齋寅次郎編
 著『追跡・帝銀事件』（昭和五十八年五月十一日晩聲社）レポルタ
 ージュ「藝書」）等。

